

国家戦略特区への提案

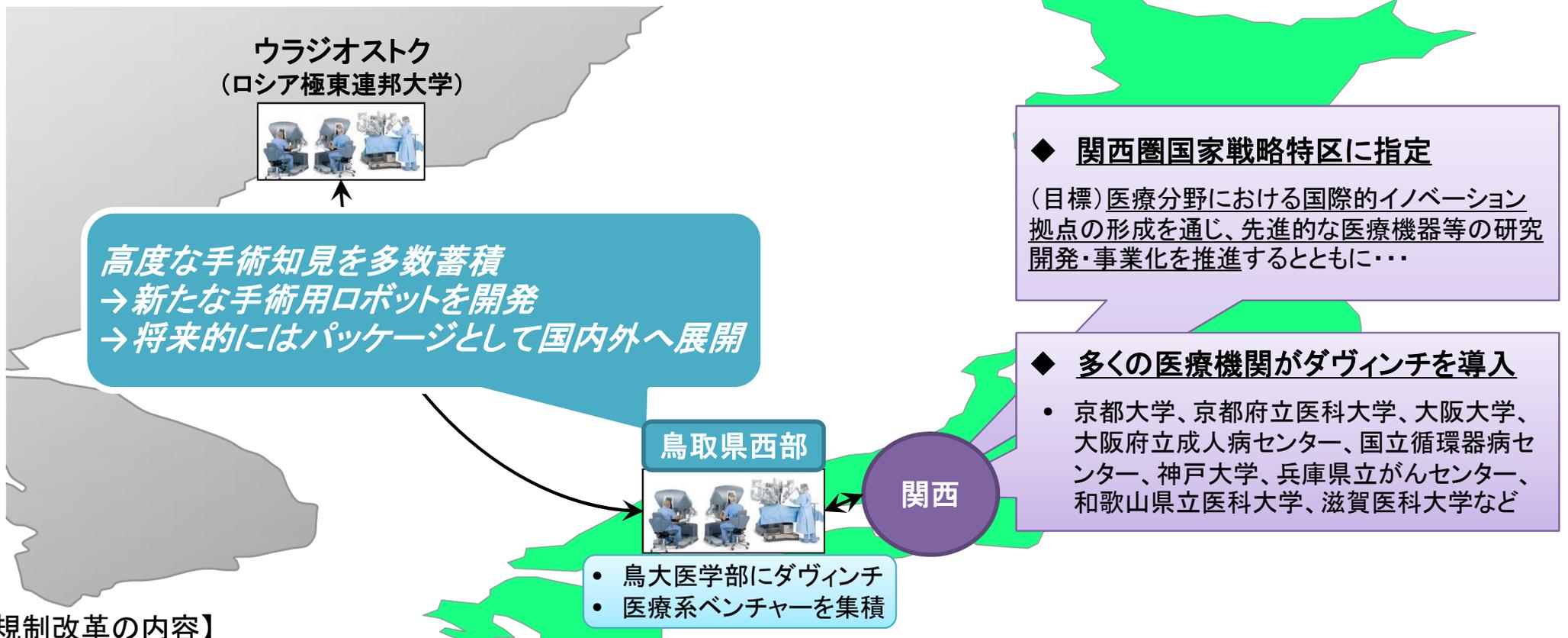
平成26年9月

鳥 取 県

【国家戦略特区(第2次提案)】

鳥取大学発 手術ロボットを核とした新たなイノベーション創造プロジェクト

- 鳥取大学が持つ豊富な手術ロボットの知見を活用し、規制改革を通じて、新たな手術ロボットの開発、医療機器産業の国際競争力強化を図る。(和歌山県、関西広域連合と連名で提案)



【規制改革の内容】

項目	現状	効果(主なもの)
• ロボット手術の遠隔指導の制度整備	• ロボット手術の遠隔指導に関する制度がなく、鳥取大学の技術、ノウハウを他地域の医療機関に効率よく伝えることができない。	• 他地域の患者へ高度な医療を提供 • 他地域の医師のスキルアップ
• 薬事承認の迅速化(薬事法)	• 医療機器の承認に時間がかかるため、新たな医療機器の開発に国際的に遅れをとっている。	• 国内企業の医療機器産業への参入促進 • 医療産業、日本経済の活性化
• 保険外併用療養の拡大(健康保険法)	• 保険診療と保険外診療の併用は原則として禁止されているため、ロボット手術を必要とする患者にとって経済的な負担が大きい。	• 患者の経済負担の軽減 • 手術増により知見が増加し手術ロボット開発へ

国家戦略特区提案

～未来社会創造ディスプレイ・イノベーションプロジェクト～

○鳥取県における、新たなディスプレイを中心としたイノベーションを創出するため、国家戦略特区に「未来社会創造ディスプレイ・イノベーションプロジェクト」を提案。

【鳥取県の提案内容】

【未来社会創造ディスプレイイノベーションプロジェクト】

○道路規制の緩和などにより、最新鋭の車載用ディスプレイを搭載した実証を行うためのサーキットコースの設置やそれに伴う産業集積の構築。

【規制緩和等の提案】

- ・道路交通法の緩和
- ・農地法の緩和
- ・都市計画法の緩和
- ・研究開発税制の拡充



【関西圏との連携】

○鳥取県から距離的に近接しており、海外自動車メーカーの販売店等が多数存在する大阪市を中心とした関西圏と連携し、経済的波及効果、賑わい創出を図る。



新たな車載用ディスプレイ『eコクピット』

■eコクピットとは、車載カメラやカーナビ、オーディオなどを一元的に制御する次世代の多機能ディスプレイであり、欧州海外自動車メーカーを中心に今後拡大が見込まれる。
(2016年はメーカ出荷数量ベースで、115万台→2020年には、1,000万台を超える予想。)

<次世代ディスプレイ「eコクピット」>

■**ジャパディスプレイ鳥取工場**で開発を行う次世代車載用ディスプレイ
・オーディオ、エアコン等を画面で一括操作が可能



■**アウディ**が最新の車に搭載を行う車載ディスプレイ
・カーナビやメーターが一体化し、視認性を向上



eコクピット市場は、2016年を契機として、急速な拡大が見込まれる。



□カーナビゲーション+ディスプレイオーディオ(DA)世界市場規模 □eコクピット世界市場規模

(単位:千台)

	2013年 (予測)	2014年 (予測)	2015年 (予測)	2016年 (予測)	2017年 (予測)	2018年 (予測)	2019年 (予測)	2020年 (予測)
eコクピット世界市場規模	0	0	0	1,154	2,662	4,459	6,881	10,027
カーナビゲーション+ディスプレイオーディオ (DA) 世界市場規模	17,296	20,729	25,300	27,769	29,927	30,950	31,920	32,140
車載機世界市場規模 (合計)	17,296	20,729	25,300	28,923	32,589	35,409	38,801	42,166
前年比	-	119.9%	122.0%	114.3%	112.7%	108.7%	109.6%	108.7%

(出典: 矢野経済研究所「eコクピット、カーナビゲーション・ディスプレイオーディオの世界市場規模予測」)

「クルーズ「日本海側ゲートウェイ・境港」プロジェクト」

地域限定通訳案内士の増加

現状

地域限定通訳案内士制度 ≡ 通訳案内士制度
⇒試験の実施等に膨大な労力が必要⇒事実上、活用が困難

境港での通訳案内士不足
⇒他地域(他都道府県及び海外)から旅行会社が手配

目標

地域限定通訳案内士の要件等を各都道府県知事が定め、運用できることとし、条例で定める

- ・外国語能力は外国語能力検定試験を準用し一定水準確保
- ・地理歴史等は研修受講による認定など、地域で要件を規定し、運用できるように制度改正

地域限定通訳案内士の増加 ⇒ **ガイド需要に対応可能**
地域の観光に精通した質の高いガイドの供給 ⇒ **観光客の満足度増加**



県外の通訳案内士の案内風景

入国審査の簡素化

現状

- ・船上入国審査基準の運用が2,000名以上の船に限定
- ・2,000名を超えても、通常の着岸後の入国審査を実施する場合もある

入国審査に長時間所要 ⇒ **実質的な滞在時間が減少**

目標

すべての外国クルーズ客船への船上入国審査の実施

入国審査時間の大幅短縮
→日本海側へのクルーズ客船寄港増加・乗客の満足度向上
→寄港地観光の時間増加による現地消費額の増加、ツアー商品の多様化
⇒**日本海側他県も含め日本海側へのクルーズが増加、地方活性化**



コスタビクトリア境港入港時

クルーズ「日本海側ゲートウェイ・境港」プロジェクト ～免税店の拡大～

- 訪日客が買い物しやすい環境整備のため、免税手続きの共同処理等による消費税免税店舗の拡大。

【現状及び課題・問題点】

- 事業規模が小さいことや事業者の高齢化などにより、免税店ごとに免税手続きや外国人旅行者の人的対応が困難。
- 免税手続きに必要な備品・資材の購入、機器の設置・改修など、免税店ごとに新たな費用負担が発生。
- クルーズ船の寄港時に臨時出店される免税店の許可について、出店の都度、申請することが必要。

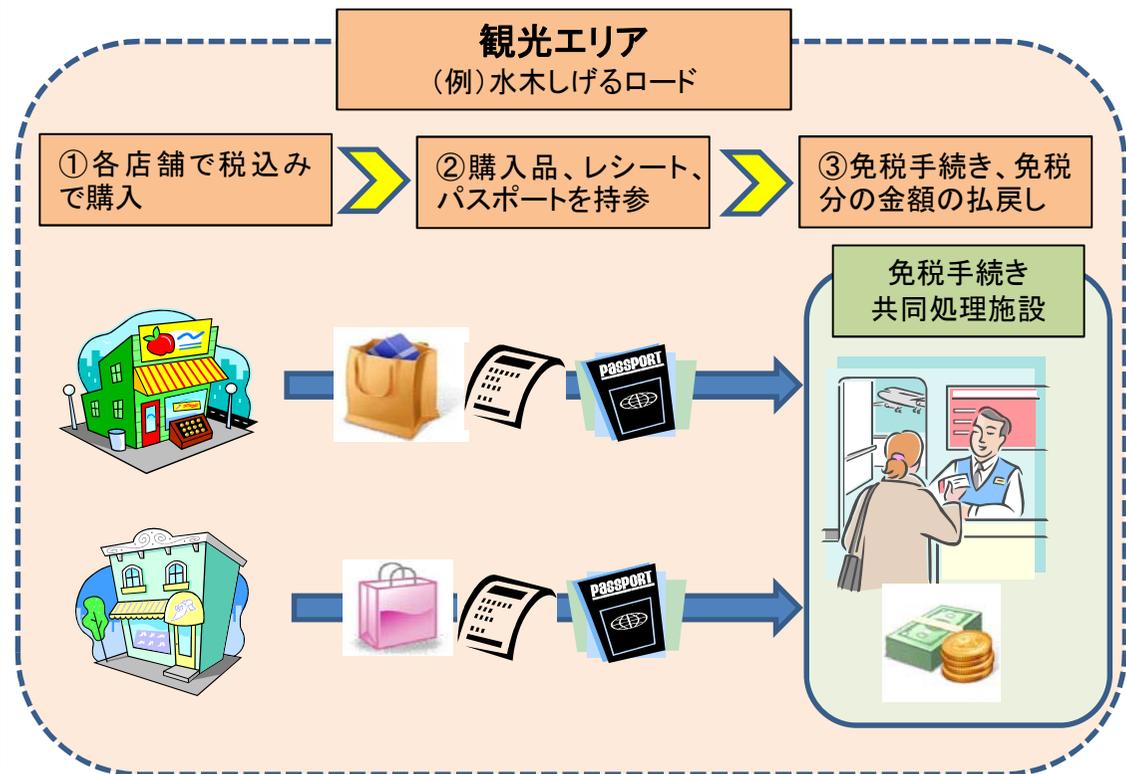
【規制緩和・制度改革の提案】

- 観光エリア内の共同処理施設における免税手続きの実現
- 臨時的免税店の免税許可申請手続きの簡素化

【経済的・社会的効果】

- ◎ 免税手続きの集約化（エリア内共同処理）
事業者：人的・費用的負担の軽減
訪日客：一括した手続きにより煩雑さ解消
- ◎ 臨時出店の都度申請を省略
事業者：ビジネスチャンスへの即応
訪日客：効率的に名産品の大量購入が可能

■ 免税手続きの共同処理のイメージ



中山間地等における陸上養殖や農家レストランなどによる6次産業化推進特区構想

○取組の概要

【陸上養殖施設】

- ・稚魚養殖には豊富で美しい低水温(20度以下)の淡水が必要
- ・水源に近く、上流に人家のない中山間地が一番の候補地
- ・養殖規模を勘案すると農地の活用が必要

※稚魚養殖(中山間地)⇒成魚養殖(近海)⇒加工(養殖場付近の工場団地)

現在の養殖施設及び加工場



【農家レストラン等の設置】

- ・地元の産品を食べることができ、来場者が生産現場に触れ、農業に親しむことができる農家レストランを開設
 - ・農地やその近隣での事業実施が必要
- ※生産、製造、販売、飲食、体験、食育が一体となった施設

《経済的社会的効果》

○中山間地を中心とした産業の育成

- ・生産拡大(ギンザケ667トン→2,000トン)、加工を実施。輸出を視野に入れた事業展開

➢ 稚魚の養殖による中山間地での新たな産業の創出

○地域農産品による地域振興

- ・地域の旬の食材の提供
- ・農業との親しみ(観光、食の安全)
- ・将来的な農業の担い手確保

○事業実施不可能・困難な事項

- 中山間地直接支払いの計画期間中の農地転用の場合補助金返還となる
(中山間地域等直接支払交付金実施要領)
- 農用区域内に水産養殖施設、農家レストランの設置ができない
(農業振興地域の整備に関する法律)
- 施設に隣接しない第1種農地に従業員向け住宅、駐車場の設置ができない
(農地法)

規制/制度改革のための提案・新たな措置

- 中山間直接支払の計画期間中での補助金返還免除
- 農業振興地域の農用区域内の水産養殖施設、農家レストランの施設設置
- 第1種農地への関連施設設置
- 農地転用の大臣協議廃止及び権限の市町村長への移譲